

泉の自治だより

題字 縹 縹 健 二

No. 141

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 縹 縹 健二
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中郷町 TEL 55-3653
編集部長 安藤 新平



泉手芸教室

コロナ禍に立ち向かった連合区役員 一年を振り返る

「コロナ禍で想ったこと」



泉町連合区会長 縹 縹 健二

一、コロナについて
 泉町の皆様、コロナの流行で大変ですが、いかがお過ごしでしょうか。思えば昨年の十二月上旬ごろには、このままコロナは終息するのではと思つていましたが、中ごろから新たなオミクロン株が南アフリカで発見されるや、あつという間に全世界の流行になってしまいました。連日、テレビニュースはトップで新規発生件数や病床使用率を伝えていきます。コメントーターの先生方の発言を拝聴していると、感染力が非常に強く全国の一日の発生数が十万人を超すのも時間の問題ともいわれ、恐ろしく感じていました。

新聞では毎日の土岐市の発生件数にどうして目がいきます。記事の中に土岐市に関する文言があれば、泉町は大丈夫かととても心配になってしまふ日が続いています。学校や保育園等ワクチン接種率の低い児童・園児等が患し、休校にもなりまして、濃厚接触者の自宅待機日数が七日へと減つたとはいえ、いろいろな不便と不安が発生していることに對し心を痛めます。

デルタ株と比較すればオミクロン株は重症化率が低いといわれていますが、インフルエンザとは同じではないから軽くとらえないよう警鐘を鳴らされています。私たち個人でできることは手洗いと消毒、そしてマスクで飛沫を減らすことの励行徹底です。

二、自治会活動について
 やはり二年続きのコロナ禍の中で、泉町各区での活動は縮小されたことと思います。泉町連合区も同様に大きな施策が軒並み中止となりました。泉町民野球大会、泉町民運動会、新年の歩け歩け大会の中止。規模縮小で公民館祭りは実施できませんでした。仕方ないこととはいえ、楽しみにしておられた泉町の皆様をカッカリさせてしまいました。新年度はできると祈

つています。さて、皆さんは泉町の自治会加入率はどのくらいのものかわかりますか。令和三年四月現在六三・三〇%と土岐市の中でもかなり低い数字なんです。土岐市の南部はかなり高いと聞いています。

アパートやマンション入居者の増加や、世代交代に伴う若い方々の自治会に対する関心が薄れているのが原因かと思えます。世の中、行政のみならずいろいろなボランティア組織から成り立っています。若干の活動費が支給されることもありませんが、ほんの一部を挙げれば民生委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司、もちろん地域の自治会もそうです。こうした社会的に大事な役割を担う人々を推薦しているのが泉町連合区です。

陰ながら支えている人達がいるおかげで安心な生活ができています。そういうことがわかってきたのは、恥ずかしながら最近のことです。遅まきながら、若者世代に感じてもらえる施策の実施を検討すべき時期にあると思えます。

三、終わりに
 以上、コロナ禍で感じていることを述べました。平穩な日常が一番です。この原稿が泉の自治だよりに掲載するには新たな変異株が猛威をふるっていかないことを願っています。

「クイズ」は出来たのか?



久尻区長 安藤 義雄

年度当初に自治会活動のクイズを目標にしたこの激しいコロナ禍においてどれくらい達成が出来たのかを振り返ってみる。まず定型文書作り。多くの申請書は市役所ホームページに用意されている。それらの大半はワード形式である。定型で差し込む部分の多くは役職、住所、氏名、電話番号などである。差し込み印刷をすれば簡単に出来ると思われがちなのだが、ワードの特性で、差し込み文字数などによって体裁が崩れてしまう。ワードは便利である反面意外と融通がきかないものでもある。

色々なデータを差し込むには当然エクセルの方が使いやすい。簡単なページ印刷機能を使えば、必要とする文書へのこれらの差し込みは至って簡単である。

手始めに名簿の簡易データベースを作ってみたり、町内からの名簿データなどをタブによって整理、表示そして印刷できるものである。

次に、これを利用して郵送用タックシールのデータ作成を可能にしてみました。名簿を管理して応用する事は実に便利になる。多くの申請書もエクセルで作りますと結構な応用

がきく。次に、祭礼のみこし運行などで申請する道路使用許可申請書。毎年ほぼ同じ申請を警察署に提出しなければならぬ。コースもスケジュールもほぼ同じ。人員の配置や神輿の大きさもほぼ変更される事はない。エクセルのタブに氏名など入力すれば、一連の申請書がサクッと出来るようにしてみた。

残念ながら今年度は運用できなかったが、区内の町内会には練習という意味で書式を配布してある。次年度以降はきっと多く利用してもらえると思う。

次に、ご時世柄、必要な出歩きを少しでも減らしたいところ。泉町連合区のホームページを簡易ながらもメールで出来るようにアカウントも作成、当然市役所とのやりとりにも活用できるようにである。簡単な文書などはメール添付で片付けられるようになった。容量の大きいものは無料クラウドに配置できるようにもしてある。

今年度久尻区から市への要望はエクセルで取りまとめ、町内から出された要望書などはスキャンしてPDF化して提出を

してある。本年度はまだ出来ていないが、来年度には連合区から各区への文書もクラウドに対応して電子化を図りたいと考えている。これだけ電子化を進めようとしているのにも関わらず、お役所は未だに紙ベースで運んでくる。広報紙はともかく簡単な回覧など、わざわざ印刷して数枚伝達してくれるのならデータで送ってほしいものである。どのみち泉町連合区で町内向けコピーという事務作業を行うなら、データでもらった方が圧倒的に便利なのである。

各区あてのコピーだけならともかく、連合区会での議事文書も作成しなければならぬのである。数部の文書をいちいち手作業でコピーして作成など不合理的である。PDF文書ならページを差し込めば簡単に印刷を行えるし、PDF化してしまえば、そのまま各区に対して電子文書として配布も可能である。さすれば各区でもその文書の再利用が簡単になるではないか。

当然の事だが、久尻区会でのレジメも議事資料もPDF化している。電子文書として作成してしまえば、必要部数をプリンタで印刷して綴じただけである。毎年恒例の役員による公民館でのコピーと製本作業は行っていない。印刷して製本だけなら三十部程度は印刷待ち含めて一人で二時間。ゆつたり茶を飲みながらである。

まあ、議事内容を考えて、多少のワープロと体裁づくりで少々手間はかかるが、レジメはエクセルでテンプレートで作つてあるのでそれに打ち込むだけだし、手間がかかるのは体裁を整えるためページ番号を振る事ぐらいだろうか。

今期はまともな自治会活動は殆ど出来ていない。お祭りも出来ない、運動会も、野球も。そして研修も懇親も。ないない尽くしては、引き継がれた次年度役員が困つてしまふので、出来るだけ多くの情報とアイテムを残していきたいと思う。

今想う事

河合区長 宮崎 清一



総理大臣様というのはすごく偉い人なのです。でも総理大臣様の役目を果たさなければ、道端に落ちていく踏み潰された

石ころと同じなのです。国民への責任とは人の気持ちや人の誇りに、いつも配慮することが大事であると私は思います。そ

の辺については、なかなかさうとも言い難い面もあったようですが、コロナ禍、不安だらけの生活の中で、たくさんさんの安心感をいろんな形で人々に与え続けてくれました。安心感という土台があったからこそ、令和の大きな波を人々は今も乗り越え続けていられるのだと思います。

今は江戸時代でも、明治でも、大正でも、昭和でも、平成でもなく新しい令和時代です。地球規模で考え直さなければならぬ時代へと変わりつつあります。自治会活動を進めるなか、またこれから実践しなくてはならない模索の間に、目に見えない理め尽くせない溝がたくさんありました。

義理、人情、習慣、不文律、暗黙、了解、しがらみという様な、いつのまにか時代が作ってしまった厄介な溝でした。少しでもこの溝を浅くして、誰でもが、いつでも、すーっと入っていけるような、隣近所や私たちを取りまくるすべての人が、いつも笑って話し合えるような、井戸端づくりに前進しなくてはと考える日々がありました。後退することのないよう一歩を、ゆつくりと皆さんで譲り合いながら歩き続けましょう。自分たちが住んでいる大切な街なのです。皆さんで変えて行きましょう。

と、言いながらも私自身しっかりと自治会を守れたのだろうか、コロナというとてもない怪獣にことごとく打ちのめされた一年間でした。それでも何か一つ別の形で残してみようと思いつきながら、得意な分野でもつまずく事のあるこのご時世、不得意な事ならなおさら失敗はつきもの、そう思つてやればその中から新しい方法が生まれるのではと、仲間と共に挑戦しました。

共通の目標のもと平等な感覚と、仲間意識といった事が自治会活動では大切である事を現実で経験させていただきました。人の心を理解し、喜怒哀楽を理解し、不満や希望を知らなければ、人は人として生きていけないものなのです。もしこのつながりがなかったら、あの男との約束も果たせなかったかもしれないです。わかない事があると、なんだか気持ちが悪く不機嫌になってしまふ、わかつてしまふと最高に嬉しい、新しいことへのチャレンジと達成感はそのとよく似た喜びでした。最後に河合区民の皆さんへ、一年間ありがとうございました。



令和三年度もあと数か月

定林寺区長 成瀬 淳司



定林寺区長を受けて一年新型コロナウイルスで定林寺の全ての行事が中止に成つてしまいました。定林寺祭、春の清掃定林寺観音堂の九万九千日祭りは、供養祭のみ、定林寺稲荷神社の秋祭りも神事のみ、大麻頒布式、新嘗祭の式典、区三役町内会長、女性部の皆様にはご苦労様でした。定林寺区民の皆様にはお祭り、神事の行事に参加出来ず大変残念に思います。令和三年度も後僅かになりました。区民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。



定林寺稲荷神社境内

私の子供のころから遊び場だった定林寺稲荷神社は、いつもきれいに清掃されています。稲荷神社には氏子総代が月一回の月祭(清掃)を行っています。氏子総代は、定林寺の各町内から一名代表を決めて成つて頂いています。十数年前は宮司がいなく隣の太富町(白山神社)の宮司さんに来ていただいてました。十年前に今の宮司(綿織)さんに宮司の

勉強をしていただき、さらに数年前には高橋さんが宮司の勉強をしていただき、今は綿織宮司、高橋宮司の二名で神事をやっています。定林寺稲荷神社は、町(定林寺)の小さな神社です。定林寺区民で少しでも盛り上げて行きたいです。定林寺に交番が有りま

すが、令和五年に廃止になります。今後どうするか考えて行かねばなりません。今年度中に防犯カメラを考えたのですが、実行に至らず大変残念ですが、最後に成りました。この一年大変お世話になりました。ありがとうございました。

今後における自治会活動

駅前区長 黒田 利行



令和三年度も昨年同様コロナ禍での活動でしたが、二回目の区長という事で、より問題点等に向き合う事ができました。只、他の区長さん及び駅前区の役員さん達と飲み二ヶーションを通じた会話ができなかった事が非常に残念でした。

大限の効果(少しオーバー)が得られたように感じました。前にも述べたように、駅前区の問題点は、二町内が脱退した事です。駅前区の行事・予算・奉仕活動・高齢者見守り等にも多大な影響が出ています。又、行政との連絡事項の徹底も疑問が残る状況です。脱退により、残された町内及び連合区の他区に当然のように経費増の負担がかかっています。現実的には数々の行事及び各種団体支援(女性部・老人会・子供会等)、久尻神社の祭礼等、普段お世話になっている(過去にお世話になった)事に対して協力が得られず、連合区に対しても、同様に消防団・スポーツ協会・遺族会・青少年育成会等の支援金等が各区の負担増になっております。又、緑の羽根・日本赤十字・共同募金・社会福祉協議会等の集金業務を各町内が代行している費用をお願いしても、脱退したので全て払わなくても良いと考えています。中身の方が多いようになっています。どのように運用されるのかを考えず、又脱退時にもその点を深く考えて議論されていないのが現状です。再度申し上げます。是非協力の程宜しく

そんな中、行事として特に良かった事は、駅前区の祇園祭「子供縁日」を形を変えて実施出来た事です。「夏休みなのに、コロナで何処へも行けない」「仲間と遊べない」「そんな状況の中、三密防止の観点より三部制(未就学児・低学年・高学年)で来場した子供たち全員に『花火』『お菓子』を配布、射的・輪投げ・ピンポン玉すくい・くじ引き等楽しんでもらいました。場所も、従来の『ゆのみ』の広場から準備及び暑さ対策の点を考え、駅前集会所の消器庫にて初めて開催しました。駅前区の子供たちのほとんどが八十八人近くが来てくれ、親御さん達にも大変喜んで頂きました。世帯数減少傾向の駅前区にも、こんなに沢山の子どもたちが居るんだとびっくりさせられ、安心しました。役員の皆様方、本当に有難うございました。少しの工夫で経費をかけずに最

今年度も、昨年度同様新型コロナウイルスに翻弄された一年でありました。四月土岐市長や来賓を招いて行う大富区顔合わせ総会中に大富区顔合わせ総会が延期となり、七月稲荷神社夏祭り中止、九月茸山入札会は郵送入札に変更し十月の各町内のお神輿行列も中止しました。しかし、ウイルスワクチン接種の効果もあり、状況は良くなりつつある様な気がします。そのため、治療薬の飲み薬が出てくれば状況はもっと良くなると思います。そんな中、今年度時間

お願いいたします！ 数年前まで、駅前商店街活性化の為「中心市街地活性化推進協議会」を立ち上げ、行政及び商工会議所とのタイアップで「ゆのみ」を中心とした。そういった商店街活性化の過去の経緯を顧みず、現在の「役員選出が出来ない」という短絡的な理由で、脱退の結論を出された事は、非常に残念に思います。今年度に入り、市の「まちづくり推進課」を交え、脱退町内役員とも話し合いを行いました。思ったような進展はありませんでした。長々と述べて頂き

ましたが、この問題は駅前区に限らずどの区にも考えられる事だと思えます。世帯数が激減、高齢化が顕著であり、本当に自治会活動へ町内として参画する事が不可能であれば、隣町内への受け入れも視野に対応を模索する必要がありますがあると考えます。但し、最低限の費用(区費・連合区費)負担の協力、並びに行事等への共同参画、会議への出席をお願いいたします。(問題点の解決)

令和三年度を振り返る

大富区長 井口 悟

を取らされたのが自然災害、水害に関する件であります。国からの指示で全国のため池の調査が実施され岐阜県からその結果報告がありました。大富区には大富山に四つのため池があり堤防の耐震や水漏れ等問題があり四つのため池を一つにしてはどうかとの提言がありました。ただ、農業従事者の方は水がなければ米



満水時の大富池



干した状態の大富池

が作れませんので、県・市・大富区・農業従事者の四者合会を開き打合せをしました。その結果、

①より詳細な堤防状況の調査 ②自然環境破壊に調査して以前から大富山を調査してからの岐阜大学の先生への開取調査③防火用水機能等について調査してもらおうと依頼し、その結果が出た時点で再度打合せする予定です。そして、ため池については市からも管理について色々と問合せがあり、その中でため池は定期的に水抜きをして干した方がよいとのアドバイスがあり、今年度四つの池を日干しにしました。ただ何年も実施していなかったのが、泥が溜まり一番底の栓、いわゆる泥栓が抜けない池もありました。今後は池の状況を確認するためにも年一回は実施していきたいと思えます。

そしてもう一点は、白山神社隣にある仲森池ヒシの問題です。水草ヒシ



ヒシの除去作業

は繁殖力が強く、仲森池がほぼ全面覆われてしまいうような状況になっていました。そこで県にお願いをして三年前から除去作業をしていますが、取り切れていません。県予算は今年度で終了してしまうので、来年度以降も継続して実施できるように泉連合区にもお願いして市に要望書を提出し、市を通じて県に働きかけております。

今年度はコロナ禍で区の行事がほとんど中止になったこともあり、今年度特に気になった事を記しました。令和四年度はコロナも収まり、いろいろな行事を区民の皆さんと共に楽しめたらと思えます。

今年度はコロナ禍で区の行事がほとんど中止になったこともあり、今年度特に気になった事を記しました。令和四年度はコロナも収まり、いろいろな行事を区民の皆さんと共に楽しめたらと思えます。

連合区女性部長を 経歴50年

泉町連合区女性部長
渡邊 三千代



連合区女性部の役員は、駅前区、大富区、河合区、久尻区、定林寺区の女性部長の五人で活動しています。コロナ禍でスター

トした令和三年度連合区会。新顔顔合わせで初めて会った仲間ですが、女性部総会の資料作りの為、何度も話し合ううちに、

大富の里山を守る

大富山を愛する会会員 加納 弘夫

大変ながらも協力して楽しくやっていると確信しました。しかし、コロナウイルス感染防止の為に各地区の夏祭りはじめ公民館まつり等中止となり、活躍の場がなくなり、とても残念でした。

三月で任期は終わってしましますが、四月以降も女性部長の経験を生かして、何らかの形で地元にご貢献していきたいと思えます。貴重な経験をさせていだきました。一年間ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

「大富の里山を守る」少し大きすぎますが、我が地域に在住する大富地区の区役員の方々や町内会長のOBを中心に里山をこよなく愛し、里山を守る等の意気込みで平成二十五年(二〇一三年)八月に設立された組織が「大富山を愛する会」(以下「愛する会」)です。現在も大富区と地元進出企業のご協力を得ながら、大富山が地元の方々への「憩いの場」となることを願って活動を続けています。

米の丘陵の総称であり、その中には先人が災害防止と治水の為に築き上げてきた農業用ため池(四池)や湿地帯があり、シデコブシやハナノキをはじめ様々な植物や生物の宝庫となっています。愛する会では、この大富山を自然あふれる山、緑と水に触れあえる山、

ふるさとの山として大切にしていきたい。環境の整備や維持管理を継続的にやっていくことを目的に、現在も大富区の区長、役員様や町内会長様並びに愛する会会員とで活動を展開しています。



令和3年3月21日(日)大富山(大富池・北池池付)に幼虫を放流。天候は雨、大富山の東側にも放流。上記、下流の北池池にも放流。2箇所に餌となるカワナナ約8kgも合わせて放流。

①「街道」の維持補修 かつては土岐津の高山と御嵩を結ぶ重要な道路であった街道が美佐野街道です。近年はこの街道が重要であったことを忘れ去られています。

この街道が大富山の中に位置することから、重要であった街道を残すため、自然を築しめる散策路として、維持補修を行っています。

②「山中に自生する貴重植物」の保護 山中には「シデコブシ」や「ハナノキ」などの貴重植物があります。特に、この地方だけに自生する「シデコブシ」は貴重な植物でありながら美佐野街道の沿道に結構自生地が点在しています。しかし、一部箇所では周囲の雑木が大きくなり、また密集し過ぎてシデコブシの生育を邪魔している箇所もあることから、地元進出企業の助成を頂きながら、雑木の伐採や雑草の下草刈りを実施しています。

③「ホタル」の放流 地元の中央部を流れる伊野川では、長年にわたる活動し実績を上げておられる団体もありますが、愛する会でも伊野川の源流部の大富山に「ホタルを飛ばそう」と言うことで、平成二十九年(二〇一七年)六月から会員宅でホタルをふ化させ幼虫を飼育して翌年三月以降、毎年大富山の小川に放流を試みています。まだまだ自然発生とはいきませんが、六月のシーズンには放流したホタルが飛ぶことが確認できます。

4コマまんが「泉の源さん」 byみやきよし

この少年はコロナ感染防止のためマスクをしています

この女の子は…… 感染拡大防止のためマスクを……

この人「泉の源さん」は……

前歯の治療中でした

こんな投稿をいただきました。いろんな投稿をお待ちしています。

《愛する会への入会について》 さて、現在愛する会の

《コロナ禍の中で愛する会の今後の活動と希望》 平成二十五年(二〇一三年)から泉公民館と協賛し、「大富山を歩こう会」を毎年実施してまいりました。ここ二二年間はコロナ禍の影響を受け余儀なく中止の他、地元進出企業様並びに地域の方々の交流機会も同様の状況が現在も続いています。コロナの完全収束の時には、これらが再開できることを強く祈願しています。

《先輩達の意思を継承しこの活動を未来に残す》 長々と愛する会の活動などを紹介してまいりましたが、今まで多くの先輩の方々の努力により大富山が守られてきましたことに感謝し、自然あふれる山、緑と水にふれあえる山、ふるさとの山、四季を通じて楽しめる場所「地元の憩いの場」として、私達はこの思いを伝え、地域の方々との貴重な財産である大富山を未来へ残すための努力を、微力ではありますが継続してまいります。

全国で地震活発化!

東濃は大丈夫?

東濃地震科学研究所 副首席主任 木股 文昭

以前から「なぜ定林寺に派出所があるか?」交通量などの周りの立地から考えると、疑問に思うことがあった。

定林寺駐在派出所の廃止が話題となり、実際に派出所を訪ねてみると、「まだ確定ではないと聞いています。」との返答だった。残念ながら昔の写真など、派出所には資料は残っていないようだ。

そこで、市立図書館や泉公民館にある本から、定林寺派出所に関する記述を拾ってみたが、「昭和五十八年(一九八三年)派出所新築完成」という記述があっただけで、派出所の歴史を辿ることはできなかった。これでは「紙面を埋めることができ

ない!万休す。」

何かテーマになるものはないかと考えていると、図書館の書架で、『濃尾地震』という文字が目にとまった。そう言えば、東海地震や南海トラフの地震への備えや可能性がかなり以前から言われているが、最近関東地方へ嫁いだ娘の住まいと比べて、土岐市の地震の揺れはかかなり少ないように思うことが、よくあった。瑞浪市にある『東濃地震科学研究所』に「関東と比べて土岐市の地震の揺れが少ない理由」の取材を申し込みをしたところ、副首席主任研究員の木股文昭氏(肥田町在住)に原稿を書いていただくこととなった。

月に一回の頻度で襲う。土岐市では地震が極めて少ないのだ。この震度三を感じる地震はほとんどが南海トラフから沈み込み、私たちの足元の深さ四〇一六〇のプレイト内で発生する。この地震は破壊する面が狭く、大きくても震度四、家屋の倒壊はまず起きない。確かに、東濃地方には阿寺断層や恵那山断層などの活断層が多く分布する。しかし、これらの

有感地震の少ない東濃地方

プレート境界に位置する日本は地震が多い。東日本では東北太平洋沖巨大地震の発生で、現在も活発な地震活動が続く。しかし、震度三以上の揺れを泉町定林寺に設置する地震計で観測したのは二〇〇一年から十四年間で八回、瑞浪市で七回と一年一回に満たない。一方、東京では最近百年間で千回(年十回超)に達し、

活断層の活動は一〇〇年前の濃尾地震が最後となり、現在は地震活動が極めて低い。だが、東濃が地震に縁遠く、地震に襲われないわけではない。

海に縁遠くても、太平洋を間近に眺めて露天風呂を楽しむ時は激しい揺れが襲ったら、恥も外聞も捨てタオルだけで逃げることだけは忘れないで欲しい。何よりも命を守るために。

東濃を襲う次の地震

海溝で起きる巨大地震 一九七〇年代末に「明日起きても不思議でない」といわれた『東海地震』その明日も半世紀も延びる。だが、東海地震は時間が進むと、発生が一日一日と確実に迫っている問題はどうなるか。どんな被害が起きるか。戦中に起きた海溝の巨大地震、一九四四年東南海地震は県内死者や倒壊家屋などの被害が濃尾平野西部に集中した。次の地震は前回よりも巨大とされるが、家屋も確実に耐震化が進む。加えて、揺れやすい濃尾平野部や海岸沿いの地域と比較し、東濃は概して揺れ難いと評価される。私たちの研究所も、肥田町の県道沿いで道路を叩いて揺れの伝わりを調査した。確かに揺れやすきはなかった。泉でも土岐川沿いにや揺れやすい町内もあるが、濃尾平野と比較すれば格段に揺れ難い。

このような背景を考えると、東濃地方は次の海溝型巨大地震で被害を最小限に留め、被災地の復旧と復興の支援の役割を担わなくてはならない。ゆえに、郷土での被害は最小に収めたい。

在の家屋に住めなくなる「全壊」でなく、より激しく家屋が潰れた「全潰」だった。

活断層で起きる内陸の大地震

岐阜は明治の濃尾地震や天正地震など、活断層で起きた大地震に襲われ、濃尾地震は美濃だけで五千人ほどが亡くなった。濃尾地震は根尾谷断層、天正地震は阿寺断層の一部が破壊した。大地震が発生する活断層は土岐市でも南部に恵那山断層や屏風山断層、その延長に狼投山断層が分布する。断層が一斉に破壊すれば濃尾地震を上回る災害が考えられる。断層は明瞭な路頭がなく、位置や地震の発生頻度、最後の発生年代が解明されていない。もっとも、発生頻度が明確になっても直ちに減災に通じるわけではない。

一方、東濃では地場産業を支える窯が壊滅的な被害を受けた。全潰が下石二十六窯、妻木二十四窯、土岐津十九窯、泉十一窯と全窯、市内で全潰を免れたのは駄知の四窯だけ、多治見村も全四十九窯が全潰した。泥と石で造られた登り窯ゆえの災害である。 県産業生産額は震災時に陶器が三位、一位の生糸の半分以下だった。だが、震災三年後の一八九二年に二位、一位の生糸との差も一割以下に切迫した。窯元は製品破損で震災前の借金に新たな借金が加わった『二重ローク』を「寝こなし窯」で返済し、震災三年後に日本一の陶器生産地に躍り出た。驚くべき復興である。

恐れず冷静に「楽しく」備える

有感地震は今少ない土岐市だが、地震は必ず襲

う。そのためにも地震を恐れずに災害に冷静かつ楽しく備えることが必要だ。

二〇〇〇年東海豪雨で庄内(土岐)川が溢れ、西枇杷島町は全町が水没した。ある町内は電気釜に米を入れて避難所に避難し、作った握り飯を若者が腰まで浸かりながら家に残された住民に配って歩いた。その後、週一回の炊き出しを境内で一年余り続けた。世話役が「木股さん、みんな炊き出しすると、腹だけでなく心も満たされるでえ」と囁いた。私も町内で材料を持参し身近な鍋釜で『五目飯と味噌汁』の炊き出しを試みた。中学生も飯を炊き、握った。高齢者と消防団員が TENT で頑張り、市から頂く期限り間近の非常食パツクを土産にした。そんな町内が人々を災害から守る。市、町も人々も「暮らしたい」と思う町内にしたい。これこそが人々の命と暮らしを災害から守る根幹である。

編集後記

年度最後の新聞作りも年明けのオミクロン株蔓延で、町内の活動も以前のように計画通り行われず、原稿集めに、今回も編集委員全員が苦勞しました。紙面を埋めるために必死に原稿を書きました。編集会議の時間も約一時間に短縮されました。今年度は編集責任者を仰せつかり、どうせ書くなら、自分が興味を持って書くこと、それが取材を通して実際に見たり聞

いたり、確認したことを書くこと、自分が足を運び返ると、いろいろな立場の方々とお話しでき、普段の生活では出会えない経験をさせていただけました。私にとって、まさに一期一会の幸運な出会いであつたと思います。また、サークル活動に行くこと、自治だより読んでよ、という声も、原稿を書く励みになりました。一年間ありがとうございました。 編集部長 安藤 新平

令和4年度泉町のイベントカレンダー (4月~5月)

Table with 5 columns: 月 (Month), イベント (Event), 主催 (Organizer), 開催日 (Date), 会場 (Venue). Rows include events like 'TOKI -陶器祭り', '土岐美濃焼まつり', '市民総合体育大会'.

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更の可能性がありますのでご承知置き下さい。